

#### 2.6.4 まとめ

試験橋梁における走行試験結果から以下のことが明らかになった。

- ・橋梁によっては走行中の個々の大型車両の動的挙動に起因する載荷荷重の変動によって主げた部材に大きな変動応力が生じる可能性がある。
- ・鋼鈹げた橋の主げた端部（支点部）では支間中央部に比べて走行中の大型車両の動的挙動によって下フランジに大きな変動応力が生じる傾向にある。  
よって、桁端近傍部材では個々の車両の振動による影響が疲労耐久性に顕著に影響することが懸念される。
- ・床版のひずみには、速度に関係なく走行中の車両の個々の軸重に対応した明確なピーク値が現れる。  
よって床版ひずみを計測することで橋梁上を走行する車両の通過位置や走行速度を精度よく推定することが出来ると考えられる。